



茨城の土木遺産

花貫川第一発電所 第三号水路橋 (高萩市)

大正7年(1918年)竣工

花貫川第一発電所の導水路上、発電用水を取水口から水圧鉄管に送る途中の沢を渡る区間に設けられた、鉄筋コンクリート造二連アーチの水路橋。橋長約77m、幅員約2m。地上からの高さ約22m。沢の川床から石を約15mの高さに積み上げて造られた橋脚の上部に、コンクリートにより両側の山に向かって二つのアーチが架けられている。スパンドレル部分に位置する直材には鉄筋コンクリート部材を用いるなど、我が国の橋梁分野における鉄筋コンクリート技術導入初期の造形がうかがえる土木技術史上、貴重な遺産である。国登録有形文化財。

主な内容

- ▼ 小林副会長が旭日双光章を受章
- ▼ 水戸支部・土浦支部が豚熱防疫作業に尽力
- ▼ 関東地方整備局、茨城県土木部と意見交換
- ▼ 今年度の新規入職者研修スタート

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

令和3年度の事業報告など承認

理事会を開催

本会の令和4年度第1回理事会が5月10日に水戸市の茨城県建設技術研修センターで開かれ、令和3年度の事業報告や収支決算などが承認されました。令和3年度も研修や講習、地域貢献活動、入職者の確保活動などを進め、会員企業の経営力の強化を図り、「地域の守り手」としての使命を果たしました。

あいさつで石津健光会長は、原材料価格の高騰などにより建設業界は先を見通せない厳しい状況が続いていることを指摘。また自然災害が多く発生し、「地域の守り手としての建設業の取り組みを強化していく必要がある」と述べました。



石津会長

さらに担い手の確保・育成、働き方改革、インフラ分野のDXへの対応などの課題に対し「協会として事業を推進してまいりたい」と示しました。

また4月に発生した豚熱の防疫作業に尽力した土浦支部と水戸支部に感謝の意を表しました。

議事では令和3年度の事業報告・収支決算を承認。令和3年度も経営基盤の強化や生産性向上へ



令和3年度の事業報告などが承認されました

の取り組み、地域貢献活動、入職者の確保・育成事業、常設委員会の活動、女性部会「建女ひばり会」活動、労働災害防止活動など多くの事業を推進した。

また令和4年度定時総会を5月25日（金）に同センターで開催することも決定しました。

4社の入会が承認

本会会員 546 社に

理事会では4社の新規入会も承認されました。これにより本会の会員数は546社となりました。新規入会の4社は次のとおりです。

▽水戸支部

常北建設工業(株) 松崎智代表取締役

住所 城里町増井1351-3

電話 029-288-4583

(株)金長設備工業(株) 金長英樹代表取締役

住所 城里町大字下坪1668-2

電話 029-289-3778

▽常陸大宮支部

(株)ニシノグループ 西野秀則代表取締役

住所 ひたちなか市大字馬渡1131-1

電話 029-276-7729

▽土浦支部

(株)岡崎土建 岡崎二郎代表取締役

住所 石岡市下林389

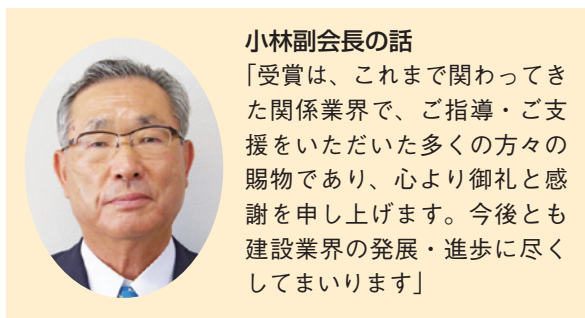
電話 0299-43-0428

小林伸行副会長(土浦支部長)が旭日双光章 おめでとうございます

令和4年春の叙勲で、本会の小林伸行副会長(土浦支部長、株新みらい社長)が建設業振興功労として旭日双光章を受章されました。誠におめでとうございます。益々のご活躍を祈念申し上げます。

小林氏は昭和25年生まれの72歳。国士舘大学工学部土木工学科を卒業後、武藤建設(株)に勤務。昭和54年に家業の谷原建設(株)に勤務し、平成20年から株新みらいの代表取締役を務めています。

I C T技術を活用したi - Construction、B I M / C I Mなど、建設D Xに取り組んでいます。経営の合理化とともに、業界全体の品質・安全の維持向上を図り、地域の産業として防災・減災にも取り組んでいます。国、県の優良工事表彰を多



く受賞し、平成26年7月には建設事業関係功労で国土交通大臣表彰の栄誉に浴しました。

本会では理事、常任理事を歴任し、平成28年5月から平成30年5月まで及び令和2年6月からは副会長を務めています。土浦支部では理事、副支部長を経て令和2年5月から支部長を務め、地域業界の進展に寄与されています。

水戸支部・土浦支部が 豚熱防疫活動に尽力 「地域の安心・安全を守る」使命果たす

石岡市内の養豚場で発生した豚熱について4月13日と14日、土浦支部(小林伸行支部長)が防疫活動に尽力しました。6社から延べ30名が作業に従事し、「地域の安全・安心を守る」という本会の社会的使命を果たしました。

防疫活動は、茨城県と締結している「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」に基づき実施。消石灰散布、掘削、積み込み、運搬、埋立処分に協力しました。

また水戸支部では、4月15日に城里町で発生した豚熱の防疫作業で1社4名が敷鉄板布設などに協力しました。



円滑な施工確保へ協議

関東地方整備局、県土木部と意見交換

本会は4月11日、国土交通省関東地方整備局の茨城県関係事務所、県土木部・企業局との意見交換会をそれぞれ、水戸市の県建設技術研修センターで開催。受発注者が連携して円滑な施工を図っていくことを協議しました。

あいさつで本会の石津健光会長は、担い手の確保や処遇改善など直面している課題について支援を要請。「円滑な執行へ緊密な連携を図ってまいりたい。ご指導を」と述べました。

関東整備局との意見交換で常陸河川国道事務所の日下部隆昭所長は、災害対応を着実に進めていくため「地域に根ざした皆さまの力が重要になる。担い手の確保、DXによる生産性の向上にも努めていく」と述べました。

意見交換では関東整備局が昨年度の支部との意見交換会の状況などを説明。協議を重ねました。



日下部
常陸河川国道所長



田村土木部長



石津会長

県土木部との意見交換会では、週休2日制やICT活用促進工事、建設キャリアアップシステム(CCUS)などで意見を交わしました。

あいさつで本会の石津健光会長は「防災・減災、国土強靱化のため、公共工事の円滑な執行へ緊密な連携を」と抱負。県土木部の田村央部長は「DX（デジタルトランスフォーメーション）や働き方改革を進めていくため、しっかりと意見交換をして取り組んでいきたい」と述べました。

早く一人前に成長を

新規入職者
研修スタート

本会では、会員企業の新規入職者を対象とする令和4年度の研修会を4月8日から開始しました。新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ来年3月まで全部で6回開催し、社会人としての心構え、建設業の役割や特徴、安全管理、品質管理などを学んでもらい、早く一人前になるために必要なものを身に付けてもらいます。参加者は約100人です。

新規入職者を対象とした研修会は、会員企業から定期的な実施を求める声が多いことに対応して令和2年度から全体で6回開催しています。

初回の研修会では建設業の役割と特徴、ビジネスマナーなどを研修。今後は安全管理や品質管理、



原価管理、工程管理、コミュニケーション、キャリアアップ、マネジメントなどを研修します。

研修では会社を超えた同期とコミュニケーションを取ってもらうことで、それぞれの今後の活躍につなげてもらいます。

12支部が定時総会開催

新支部長・副支部長を選出

本会 12 支部の令和 4 年度定時総会が順次開催され、任期満了に伴う役員改選を行い、新たな役員を選出しました。新支部長の抱負と正副支部長を紹介します（敬称略）。

水戸支部



下田徳行 支部長

「今後とも皆さまと力を合わせて、支部の発展に努めていく。皆さまのご協力をお願い申し上げます」

- ◆支部長＝下田徳行（菅原建設㈱）
- ◆副支部長＝田口誠壽（㈱田口工務店）
田口恵一郎（田口建設工業㈱）
株木貴史（株木建設㈱）
根本勝義（㈱根本工務店）
木村晃（大昭工業㈱）

大子支部



大藤博文 支部長

「地域の皆さまの生活を守るために、会員が一致団結して頑張っていきたい」

- ◆支部長＝大藤博文（㈱大藤組）
- ◆副支部長＝椎名義正（㈱椎名工務店）
藤田強（㈱藤田工務店）

太田支部



瀬谷 實 支部長

「コロナ禍で先が見通せない状況だが、業界発展のために工夫して人材確保を行っていきたい」

- ◆支部長＝瀬谷實（瀬谷建設㈱）
- ◆副支部長＝梅原基弘（㈱梅原工務店）
井坂陽介（㈱井坂組）

高萩支部



秋山光伯 支部長

「コロナ禍の中でわれわれの仕事も緊張を強いられている。各社のご協力をいただきたい」

- ◆支部長＝秋山光伯（㈱秋山工務店）
- ◆副支部長＝鈴木一良（鈴縫工業㈱）
千葉順（㈱千葉工務店）
中野章（㈱根本組）

常陸大宮支部



高野 潔 支部長

「技術の研さんに励み、より良いものを発注者に届ける。新役員一丸で業界と支部の発展に努める」

- ◆支部長＝高野潔（㈱高野工務店）
- ◆副支部長＝浅川清司（㈱浅川建設）
瀧文雄（㈱瀧工務店）
千葉和男（東水建設㈱）

鉾田支部



羽生義隆 支部長

「責任の重さを痛感している。皆さまのお力を借りながら公平・公正に運営していく」

- ◆支部長＝羽生義隆（㈱羽生工務店）
- ◆副支部長＝伊東久夫（㈱伊東建設）
中野久（㈱中野建設）
高橋修一（高橋建設㈱）

12支部が定時総会開催 令和4年度の事業計画を決定

潮来支部



松崎里志 支部長

「コロナ禍によって建設業界は厳しい状況が続いているが、業界の維持発展のために尽力していく」

- ◆支部長＝松崎里志（松崎建設㈱）
- ◆副支部長＝小山竜男（小若建設㈱）
阪口樹利（三光建設㈱、会計担当）

筑西支部



小薬拓巳 支部長

「魅力的に見える業界となるためには、就業形態の変化も業界全体として改善していく必要がある」

- ◆支部長＝小薬拓巳（㈱小薬建設）
- ◆副支部長＝白田唯雄（白田工建㈱）
小貫勝重（小貫建設㈱）
大内康意（大内建設㈱）

竜ヶ崎支部



細谷武史 支部長

「地場建設業が果たす役割は大きくなる。皆さまのご協力を得ながら経営環境の改善に力を尽くす」

- ◆支部長＝細谷武史（大昭建設㈱）
- ◆副支部長＝松浦一久（松浦建設㈱）
熱田勝義（平山建設㈱）
佐々木孝夫（常磐建設㈱）

常総支部



中川原勇 支部長

「担い手確保に向け週休2日の導入、ICTの活用などに取り組む。公正公平に活動していきたい」

- ◆支部長＝中川原勇（石塚産業㈱）
- ◆副支部長＝山本宗一（㈱下妻建設）
染谷正美（染谷建設㈱）

土浦支部



小林伸行 支部長

「『地域の守り手』として、あらためて支部全体で力を合わせていきたい」

- ◆支部長＝小林伸行（㈱新みらい）
- ◆副支部長＝斉藤実（㈱斉藤建設）
山本和男（㈱山本工務店）
大和田米吉（㈱大和田建設）
吉田雅幸（ヤシマ建設㈱）

境支部



新井 孝 支部長

「建設業者は地域に、いち早く安心安全を届けるのが使命。役員一丸となって取り組んでいく」

- ◆支部長＝新井孝（㈱新井建設工業）
- ◆副支部長＝小沢勲（小沢道路㈱）
野口恵夫（㈱野口組）
高橋正（㈱高橋芝園土木）
菊地和幸（㈱五霞建設）

建災防
県支部

令和4年7月～9月 講習会開催予定表

月	日		曜日		講 習 名	会 場	備考
7	4	5	月	火	職長・安全衛生責任者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	6	7	水	木	型枠支保工作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	12		火		酸素欠乏・硫化水素危険作業	茨城県建設技術研修センター	
	14	15	木	金	建築鉄骨作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	21	22	木	金	木造作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	25	26	月	火	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)
	27		水				(実技)
	28	29	木	金	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
8	2	3	火	水	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	5		金		足場の特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	8	9	月	火	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	10		水				(実技)
	18	19	木	金	職長・安全衛生責任者	茨城県建設技術研修センター	
	24	25	水	木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	26		金				(実技)
	29	30	月	火	小型移動式クレーンの運転	建荷協研修センター	(学科)
31		水		(実技)			
9	1		木		施工管理者のための足場点検実務者研修	茨城県建設技術研修センター	
	5		月		刈払機取扱作業	建荷協研修センター	
	6		火		職長・安全衛生責任者能力向上	茨城県建設技術研修センター	
	8	9	木	金	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	13		火		フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	15	16	木	金	石綿作業主任者	建荷協研修センター	
	20	21	火	水	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター	
	22		木				
	27		火		フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設業協会高萩支部会館	
	28	29	水	木	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)
	30		金				(実技)

国は請負額が 32%増

令和3年度の
県内公共工事

東日本建設業保証(株)茨城支店は、前払金保証実績から見た令和3年度の県内公共工事（施工場所が県内）の動向をまとめました。件数は6,898件で前年度比で1.5%減、請負金額は3,683億6,600万円で同5.5%減。発注者別では、那珂川や久慈川の緊急治水対策工事、圏央道4車線化工事、東関東自動車道の建設工事が増えた国は請負金額が同32.2%増となりました。

請負金額を過去10年間で見ると6番目の水準。そのうち国は10年間で最も多くなりました。

令和3年度の県内の公共工事動向（金額単位：百万円）

項目 発注者	令和3年度		対前年度増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額
国	449	83,745	9.2%	32.2%
独立行政法人等	142	27,977	-0.7%	-37.3%
県	3,017	112,413	-0.1%	-5.6%
市町村	3,027	121,621	-5.2%	-9.5%
地方公社	47	3,436	-2.1%	43.3%
その他	216	19,172	15.5%	-19.6%
合計	6,898	368,366	-1.5%	-5.0%

小規模現場でもICTを

「ホンキの一步」体験会



3次元設計データ作成を研修

本会は、ICT活用工事を推進する会員企業を対象とした「ホンキの一步」体験会を4月26日、行方市にある(株)トプコンソキアポジショニングジャパンの関東トレーニングセンタで開催。参加した技術者は3次元設計データと施工データの作成、ICT体験施工を行い、理解を深めました。

体験会は、茨城県がICT活用促進工事の実施要領を改定して小規模現場でもICT施工が行いやすくなったことに対応するために実施。

4月11日には、小規模ICT活用工事の対応方法などを説明するオンラインセミナーも開催。3次元設計データ作成などを学んでももらいました。



ICT施工を体験

情報共有システム 活用へ講習会

本会は4月13日、茨城県土木部が活用を進めている建設工事の情報共有システムについて説明するWEB講習会を県と共に開催。県の活用方針に加えて、システムの申し込みから使用方法までの実践的な内容を研修しました。

合格へ対策講習会

2級土木施工管理検定



本会は令和4年度の2級土木施工管理技術検定について、第一次検定の受験対策講習会を4月25日から27日まで水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。合格への後押しとして、労働基準法などの関係法令、工程管理や安全管理などの施工計画、土工やコンクリート工などの土木一般などを学んでももらいました。

ICT活用推進を

技術力向上セミナー

建設業技術者センター（CE財団）が主催し、本会などが後援した「第10回建設技術者のための技術力向上セミナー」が4月20日、水戸市の茨城県建設技術研修センターで開かれました。参加した技術者はICT施工やコンクリートの品質確保などを研修。同センターの谷口博昭理事長は「技術者は高い技術力やコミュニケーション力、的確なマネジメント力の発揮を」と望みました。

会員の動向

〈代表者変更〉

▽水戸支部

(株)田村工務店 松壽武夫 → 田村貴也